

(記入例)
2025年度 業績優秀者返還免除申請書

(様式 1 - A)

両面印刷

西暦 2026 年 2 月 1 日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。

- 免除認定を受けた場合、認定後に日本学生支援機構が行う特に優れた業績による返還免除に関するアンケートや調査に協力することに同意します。
- (2023年度以降に博士(後期)課程及び博士(後)期・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学金(給付型)を受給した者)又は「国家戦略分野の創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」又は「国家戦略分野の課程学生の育成事業(BOOST)次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」の免除が取り消されることを承知しています。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨)

フリガナ キコウ タロウ
氏 名 機構 太郎

一貫制博士課程に在籍している場合、1～2年生は修正課程、3～5年生は博士後期課程にチェックを付けてください。

大 学 院 名	JASSO		
課 程 該 当 の 課 程 の □ を ■ に し て く だ さ い	☐ 修士(博士前期)課程	☐ 専門職学位課程	☒ 博士(博士後期)課程
返還免除内定者の方は、必ず チェックしてください。	工学研究科情報工学専攻	学 籍 番 号	9999999
	2 3 0 6 9 9 9 9 9 9	生 年 月 日	西暦 1988 年 4 月 5 日

☐ 上記で選択した課程において	↓専攻分野に関わらず必ず記入してください。 枠の拡大はできませんので、必ず枠内に収まる	合のみ、□を■にしてください。
大学院における研究課題等		

概要	「機構に提出」欄は学内で使用しますので何も記入しないでください。 なお、博士課程の学生は、ガイドラインを満たしている業績の資料を必ず1点提出する必要があります。 返還免除内定者を除き、「学位論文その他の研究論文」欄に記入してください。
----	---

業績の種類

(1) 業績を証明する資料を添付し、申請書に書かせる(「機構に提出」欄は学校の事務取扱担当者が記入する)

(2) 必要に応じて行を挿入してください。行の挿入は3頁以上になっても構いません。

業績の種類					資料番号	機構に提出
1	学位論文	必要項目: ①申請者名 ②論文タイトル 例: ①機構太郎 ②「(論文タイトル)」			1-1	
	研究論文	査読付き 原著論文	受賞 ・表彰	※査読付き原著論文の有無、論文・学会で受賞・表彰は左欄に○を記載してください。 必要項目: ①申請者名(著者名、共著者名) ②論文タイトル ③論文内容の概要 ④学術雑誌等名 ⑤学術雑誌発行年 例: ①機構太郎 ②「(論文タイトル)」 ③資料1-2参照 ④「令和7年度○○学会誌」 ⑤2025年	1-2	
		○		例: ①機構太郎、奨学花子 ②「(論文タイトル)」 ③資料1-3参照 ④「令和8年度○○学会誌」、⑤2026年3月(予定)	1-3	
		○				
	学会での発表	必要項目: ①申請者名(発表者名、共同発表者名) ②題目 ③会議名 ④発表年 ⑤表彰、受賞等 例: ①機構太郎 ②「(題目)」 ③令和6年度○○学会定例会 ④2024年 ⑤表彰、受賞なし 例: ①機構太郎 ②「(題目)」 ③令和7年度○○学会定例会 ④2025年 ⑤優秀ポスター賞			1-4 1-5	
	日本学術振興会の特別研究員に採用、または、民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退	必要項目: ①申請者名 ②年度 ③特別研究員採用又は競争的資金獲得情報 例: ①機構太郎 ②2025年 ③特別研究員採用				

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類		資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果	※修士課程の学生のみ対象	基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	※修士課程の学生のみ対象	基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」 ③資料参照 ④2026年	※特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分を記載し、発明(考案)者名、出願番号、出願日、特許番号、実用新案番号、登録日等を記載してください。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるものがが必要です。
5	(専攻分野に関連した)発明	必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは認定日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2026年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX 出願番号の例：2026-123456、特願令07-123456 登録番号の例：特許 第1234567号	
6	(専攻分野に関連した)授業科目の成績	必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②資料6-1参照 ③2024年～2026年	【対象：修士課程のみ】 対象業績「対象業績一覧：業績の種類6」として成績を出す場合のみ、GPA証明書(原本：成績証明書は受付不可)を提出し、本表にも記載してください。業績として出さない場合は記入不要です。
7	(専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「情報工学基礎Ⅰ」でティーチング・アシスタントを担当 ③2025年 例：①機構太郎 ②奨学大学〇〇研究室の「(プロジェクト名)」において リサーチ・アシスタントを担当。 ③2025年～2026年	7-1
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績		※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績		基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)		基幹・創造・先進理工学研究科は当要件には該当しないため記入不要